

パブリックシーン(非住宅)に適したソファとは

～TPOから考えられたソファ～

オリバーのソファは、非住宅向けのパブリックシーンに適した設計を心掛けています。パブリックシーンにおけるソファは、不特定多数の方がご利用になるものです。

例えば、ホテルと高齢者施設でお使いいただくソファでは設計が全く異なるように、施設の特性によって異なる使用環境に対して、最適で安心してくつろいでいただける寸法やクッション構造が考慮された製品をご提案します。

さらにクッション構造にも、ご自宅との使用目的の違いをしっ

かりと考え設計しています。自宅でのソファがくつろぎ、転寝をすることが目的なら、パブリックでのソファの役割はしばし休む場所で寛ぐものですが、寝るためのものではありません。不特定多数の方が利用するパブリックシーンでだらしなく座ることは不適切ですので、沈み込みの少ないクッション構造、シワや型崩れの起きにくい張り仕様となっています。

その他にも、使うスペースに配慮したコンパクト設計がされたソファをはじめ、多数のソファをご用意しています。



パブリックソファを支える技術力

多くの施設が、メンテナンス性を考慮し、ビニールレザーを選択されます。ビニールレザーは布よりも伸びにくく、縦と横で伸び率も異なるため、より高い張りの技術を要します。オリバーのソファは、ほとんどの機種でビニールレザー張り対応にしていることが特徴です。張材の特性を考え、布用とレザー用で、縫製・裁断型を複数用意し、張り上がりの最終調整を職人の手で行っています。



オリバースタダードクッション

パブリックシーンに必要な座り心地を、独自のクッション構造で実現。ラバー系の高比重ウレタンを複数使用することで、沈み込みにくい座の仕様になっています。



座り心地へのこだわり

それぞれの機種に適したパネ材を採用しています。
※カタログ上で下記のマークで表現しています。



ポケットコイル
スプリング

Sパネ

布パネ材
(エラスパルト)

布パネ材
(ハイテンションメッシュ)

Made In Japan

ロングライフを実現する安心の国産対応。メンテナンスや、万が一不具合が起きた場合にも対応が可能です。



着せ替え自由

空間に合わせて、お好きな張材をお選びいただけます。巻末の張材以外でも、お客様にご指示いただいた張材で対応します。詳しくは、お近くの営業所までお問い合わせください。



エコロジー

間伐材の有効利用の一環として、多くの木枠に国産ヒノキ材、接着剤・塗料はF☆☆☆☆(エフ・フォースター)材を使用。事業を通じて環境保全に取り組んでいます。

